


| | | | |
|---------------|-----|--|------------------|
| 分野 | 14 | 地域子育て支援 | 通番 25 |
| 施策 | 141 | 子どもの居場所・交流の充実 | |
| 5年後の目標 | | 地域ぐるみで子どもを育てる気運が高まっており、地域の大人に見守られて子どもが生き生きと活動している。 | |

| 概要 | | | | | | | | |
|---|---------------------|--|------|----|---|--------|-------------|----------------|
| P (概要) | 実施計画名称(予算事業名称) | | 予算科目 | | | 決算額(円) | 担当課 | |
| | 放課後児童クラブ育成事業 | | 会計 | 款 | 項 | 目 | 241,777,070 | 文化・スポーツ 振興室 |
| | | | 一般 | 10 | 4 | 4 | | |
| 事業の概要 | | | | | | | | |
| 放課後の児童を対象に小学校敷地内で家庭に代わる生活の場を確保し、児童の健全な育成を図るとともに、開所時間の延長などのサービス内容の充実を図り、保護者の仕事と子育ての両立を支援します。放課後児童クラブへの入会数は増加傾向にあるため、児童一人あたりの専用区画を確保できるよう計画的な施設整備を進めるとともにすくすく教室推進事業との連携を図ります。 | | | | | | | | |


| 令和2年度の取組 | | | | | | | |
|--|---------------|--------------------------------|----|----|----|--|-----|
| D (取組) | 指標 | 児童一人あたりの専用区画1.65㎡を充たす放課後児童クラブ数 | | | | 単位 | クラブ |
| | 現状 (計画策定時) | 年度 | 28 | 29 | 30 | 1 | 2 |
| | | 目標 | 0 | 2 | 5 | 5 | 7 |
| | 0(平成26年度) | 実績 | 0 | 4 | 6 | 6 | 5 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度の入会申請受付を行ったところ、神足小学校放課後児童クラブにおいて約120人の入会申請があったことから、体育館に隣接する会議室を通年で借用し、2クラス制保育を行うために必要な備品等の整備を行いました。 ・各放課後児童クラブにおける開所時間の延長について、保護者からの要望も高く、仕事と子育ての両立の支援という視点から、18時30分を閉所時刻とする延長保育(申込制)を実施しました。 | | | | | |  | |
| 神足小体育館横会議室の児童クラブ | | | | | | | |

| 施策の「5年後の目標」に対する評価 | | | | |
|-------------------|------------------------------|----------|---|-----|
| 令和2年度の達成状況 | | | | |
| C (評価) | 評価指標 | 関連する評価指標 | 評価指標の傾向・トレンド | 対応頁 |
| | | | — | — |
| 達成度合 | B: 目標をほぼ達成できた(目標の80%~100%程度) | 達成状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・神足小学校放課後児童クラブにおいて、体育館に隣接する会議室を通年で借用し、2クラス制保育を行うために必要な備品等の整備を行うとともに、狭隘化の軽減を図ることで、保育環境を向上しました。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年2月から休会制度を導入(4月時点で138名の休会申請)、会議室や体育館の活用などにより施設の狭隘化の緩和を図りました。また、放課後児童クラブの出席率においても、4月の前年度比で約23%の減となるなど、保護者の協力もいただき、児童のソーシャルディスタンスを確保することで、クラスターの発生を防ぐことができました。 ・昨年度の長期休暇期間中の開所時間の延長に続き、平日の開所時間の延長により、保護者の利便性の向上や就労支援につながりました。 | |
| | 課題等 | | ・各放課後児童クラブの入会者が年々増加傾向であり、学校の敷地内で児童一人あたりの専用区画を確保するのが難しい状況です。 | |

| 次年度以降の対応 | | |
|-----------|------------------|---|
| A (行動) | 方向性 | 対応策等 |
| | 1: 計画通りに進めることが適当 | <ul style="list-style-type: none"> ・施設の改築を進めるとともに、今後も学校における教室や体育館等を活用するなど、学校の協力を得ながら対応を進めます。 ・四小と九小の整備における放課後児童クラブの施設について、各校区の関係者等との協議を早期に進めます。 |

| | | | |
|---------------|-----|--|------------------|
| 分野 | 14 | 地域子育て支援 | 通番 26 |
| 施策 | 141 | 子どもの居場所・交流の充実 | |
| 5年後の目標 | | 地域ぐるみで子どもを育てる気運が高まっており、地域の大人に見守られて子どもが生き生きと活動している。 | |

| 概要 | | | | | | | | |
|---|-------------------|--|------|----|---|--------|-----------|----------------|
| P (概要) | 実施計画名称(予算事業名称) | | 予算科目 | | | 決算額(円) | 担当課 | |
| | すくすく教室推進事業 | | 会計 | 款 | 項 | 目 | 3,341,121 | 文化・スポーツ 振興室 |
| | | | 一般 | 10 | 4 | 6 | | |
| 事業の概要 | | | | | | | | |
| 学校や地域、家庭が一体となって、子どもの安全・安心な居場所を確保し、特別教室や体育館等の学校施設において、地域の活力を利用して、放課後や週末などの子どもの活動拠点を創出し、学習やスポーツ、文化活動などの取り組みを推進します。また、放課後児童クラブ育成事業との連携を図ります。 | | | | | | | | |


| 令和2年度の取組 | | | | | | | |
|---|--------------------|-------------|--------------|--------|--------|---|----------|
| D (取組) | 指標 | すくすく教室参加児童数 | | | | 単位 | 人 |
| | 現状 (計画策定時) | 年度 | 28 | 29 | 30 | 1 | 2 |
| | | 目標 | 39,700 | 40,100 | 40,400 | 40,700 | 41,000 |
| | 39,452 (平成26年度) | 実績 | 34,445 | 33,515 | 33,995 | 31,398 | コロナで実施なし |
| | | 指標 | すくすく教室指導員等人数 | | | | 単位 |
| | 現状 (計画策定時) | 年度 | 28 | 29 | 30 | 1 | 2 |
| 目標 | | 6,780 | 6,785 | 6,790 | 6,795 | 6,800 | |
| 6,776 (平成26年度) | 実績 | 6,270 | 5,760 | 6,020 | 5,576 | コロナで実施なし | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・校区ごとにコーディネーターを中心とした運営組織を作り、事業を運営しています。 ・令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、すくすく教室を開催しませんでした。 ・「すくすく教室の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」を新たに作成し、中止基準を明確にした他、再開時の対策、対応について各コーディネーターと共有することができました。 | | | | | | 令和元年度すくすく教室の様子  | |

| 施策の「5年後の目標」に対する評価 | | | | |
|-------------------|--|------------------------------|--|-----|
| 令和2年度の達成状況 | | | | |
| C (評価) | 評価指標 | 関連する評価指標 | 評価指標の傾向・トレンド | 対応頁 |
| | 達成度合 | 放課後子ども教室に参加する児童数と活動に協力する大人の数 | 令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、すくすく教室を開催しませんでした。 | 195 |
| | | C:目標の一部を達成できなかった | <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、すくすく教室を開催しませんでした。 ・クラスターの発生等のリスクを抑えるため中止判断をする一方、ガイドラインを作成し、再開に向けた準備を進めることができました。 | |
| 課題等 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民による運営を継続するため、コーディネーターをはじめとする人材確保が必要です。 ・「すくすく教室の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」に沿って、十分な対策を行ったうえで、再開につなげていく必要があります。 | | | |

| 次年度以降の対応 | | |
|-----------|------------------------|---|
| A (行動) | 方向性 1:計画通りに進めることが適当 | 対応策等 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人材の力を活用した運営が継続できるよう、校区運営委員会の活動を支援します。 ・「京のまなび教室」等の外部講師の情報を校区運営委員会と共有し、新しい内容の講座実施を支援します。 ・放課後子ども総合プラン（放課後児童クラブとすくすく教室の一体型）を推進するため、放課後児童クラブからの参加を促すように活動の充実に努めます。 ・新型コロナ感染対策を充分に行ったうえで、実施します。 |

| | | | |
|---------------|-----|--|------------------|
| 分野 | 14 | 地域子育て支援 | 通番 27 |
| 施策 | 141 | 子どもの居場所・交流の充実 | |
| 5年後の目標 | | 地域ぐるみで子どもを育てる気運が高まっており、地域の大人に見守られて子どもが生き生きと活動している。 | |

| 概要 | | | | | | | | |
|---|------------------------|--|------|----|---|--------|-----------|-------|
| P (概要) | 実施計画名称(予算事業名称) | | 予算科目 | | | 決算額(円) | 担当課 | |
| | 地域で支える中学校教育支援事業 | | 会計 | 款 | 項 | 目 | 3,092,874 | 生涯学習課 |
| | | | 一般 | 10 | 4 | 1 | | |
| 事業の概要 | | | | | | | | |
| 子どもが自主性や社会性、協調性などを培うため、地域全体で学校教育を支援する体制づくりを推進します。各中学校に地域コーディネーターを配置し、地域住民がボランティアとして、中学校が必要とする支援活動(学習支援、部活動支援、環境整備、登校指導など)を行うとともに、研修交流などを通して地域ボランティアの資質向上等に努めます。 | | | | | | | | |


| 令和2年度の取組 | | | | | | | |
|---|----------------|-------------------------------|-------|-------|--|-------|-------|
| D (取組) | 指標 | 地域で支える中学校教育支援事業年間活動延べ日数(4校合計) | | | | 単位 | 日 |
| | 現 状 (計画策定時) | 年度 | 28 | 29 | 30 | 1 | 2 |
| | 650(平成26年度) | 目標 | 680 | 710 | 1,350 | 1,350 | 1,400 |
| | | 実績 | 1,358 | 1,679 | 1,472 | 1,204 | 962 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策を行い、各学校の現状に応じて、事業を実施しました。 ・長岡中学校では、学習支援(英検、数検対策)・部活動支援・図書ボランティア活動・支援学級授業支援などを行いました。 ・長岡第二中学校では、学習支援・部活動支援などを行いました。 ・長岡第三中学校では、学習支援・部活動支援・図書ボランティア活動などを行いました。 ・長岡第四中学校では、学習支援・授業補助などを行いました。 | | | | | 長岡中学校での図書ボランティア活動  | | |

| 施策の「5年後の目標」に対する評価 | | | | | |
|-------------------|--|------------------------------|------|---|-----|
| 令和2年度の達成状況 | | | | | |
| C (評価) | 評価指標 | 関連する評価指標 | | 評価指標の傾向・トレンド | 対応頁 |
| | | 京都府学力診断テストで正答率が50%未満の割合 | | 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時休校の影響で、京都府学力診断テストが中止になりました。 | |
| | 達成度合 | B: 目標をほぼ達成できた(目標の80%~100%程度) | 達成状況 | ・コロナ禍での事業実施のため日数は昨年度より減少したものの、感染対策を充分に行いながら、中学校、地域コーディネーター、地域ボランティアが連携し、各学校のニーズに応じた支援事業を行うことができました。 | |
| 課題等 | ・コロナ禍で、学校の感染対策と地域ボランティアによる事業実施を両立できるよう、工夫しながら進めていく必要があります。 | | | | |

| 次年度以降の対応 | |
|---|------------------|
| 方向性 | 対応策等 |
| A (行動) | 1: 計画通りに進めることが適当 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・感染対策にあたっての留意事項を周知するとともに、中学校のニーズに応じた支援となるよう、学校と地域コーディネーターが十分に連携し、進めていきます。 | |

| | | | |
|---------------|-----|--|------------------|
| 分野 | 14 | 地域子育て支援 | 通番 28 |
| 施策 | 141 | 子どもの居場所・交流の充実 | |
| 5年後の目標 | | 地域ぐるみで子どもを育てる気運が高まっており、地域の大人に見守られて子どもが生き生きと活動している。 | |

| 概要 | | | | | | | | |
|--|-----------------|--|------|---|---|--------|-----------|--------|
| P (概要) | 実施計画名称(予算事業名称) | | 予算科目 | | | 決算額(円) | 担当課 | |
| | 児童館子どもの居場所づくり事業 | | 会計 | 款 | 項 | 目 | 3,737,966 | 北開田児童館 |
| | | | 一般 | 3 | 2 | 5 | | |
| 事業の概要 | | | | | | | | |
| 児童館が来館する子どもや保護者にとって快適な居場所となるよう、児童館施設の充実を図るとともに利用者のニーズに沿った運営を行います。 また、子育て世代の不安感、孤独感を解消するため、子育てサロンなど子育て世代を支援する事業を継続的に実施し来館者同士の交流を推進します。 | | | | | | | | |

| 令和2年度の取組 | | | | | | | |
|-----------|--|----|------------|--------|-------|-------|---|
| D (取組) | 指標(~H29年度) | | 児童館の来館者数 | | | 単位 | 人 |
| | 現 状 (計画策定時) | 年度 | 28 | 29 | 30 | 1 | 2 |
| | 10,987 (平成26年度) | 目標 | 12,000 | 12,000 | | | |
| | | 実績 | 16,778 | 18,017 | | | |
| | 指標(H30年度~) | | 乳幼児親子の来館者数 | | | 単位 | 人 |
| | 現 状 (計画策定時) | 年度 | 28 | 29 | 30 | 1 | 2 |
| | 4,264 (平成28年度) | 目標 | | | 5,500 | 6,000 | 6,500 |
| | | 実績 | | | 4,698 | 4,744 | 182 |
| | <ul style="list-style-type: none"> 今年度は新型コロナウイルス感染症対策として、利用制限を行いながら開館しました。 児童教育相談員を配置することにより、子どもにとって学習や学校などの相談が、しやすい環境を提供することにより、学習意欲の向上や習慣づけを行いました。 児童館のクラブ活動は習字くらはぶは7月から、ダンス教室は11月から、太鼓くらはぶは2月から開始し、協調性などを養いました。 乳幼児親子の交流の場としてキッズルームを利用制限を設けながら開設しました。子育てサロンは講師と協議し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため開催を見送りました。 | | | | | | たけのご教室  |

| 施策の「5年後の目標」に対する評価 | | | | |
|-------------------|--|-------------------|--------------|--|
| 令和2年度の達成状況 | | | | |
| C (評価) | 評価指標 | 関連する評価指標 | 評価指標の傾向・トレンド | 対応頁 |
| | | — | — | — |
| | 達成度合 | C: 目標の一部を達成できなかった | 達成状況 | <ul style="list-style-type: none"> 乳幼児親子は昨年度より4,592人減の182人となりました。 総来館者数は昨年度より13,028人減の1,827人となりました。 クラブ活動は、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、習字くらはぶは7月、ダンス教室は11月、和太鼓くらはぶは2月から開催しました。 中学生193人、高校生20人、小学生773人が学習室で宿題や自主学習に取り組みました。 新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドラインで利用形態及び入館者に上限を設けたため、児童館利用者が減少しました。 事業については、事業内容に変更を加え、準備を進めていましたが、緊急事態宣言による休館等により実施することができませんでした。 |
| 課題等 | 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の流行による、緊急事態宣言等で利用制限を設けたことにより、来館者数が激減となりました。また、体験教室等は中止し、クラブ活動についても年度途中からの開始となりました。 | | | |

| 次年度以降の対応 | | |
|-----------|------------------------|--|
| A (行動) | 方向性 2: 進め方の改善の検討が必要 | 対応策等 ・令和3年度以降についても新型コロナウイルス感拡大予防ガイドラインに沿った形で児童館事業内容を見直し、運営を行っていきます。 |